

16春闘
第4回
集団交渉

未来ある生コン業界をつくる

「5割を本勤に」と回答!

賃上げ1万円 (日々雇用
日額500)円

一時金138万円 (未到達者は
5万円UP)

福利厚生12万円

輸送運賃4万6千円を上限に3千円UP

人員補充 正規：非正規を5：5にする



3月30日、協同会館アソシエで16春闘第4回集団交渉が行われた。交渉で経営者会は「格差是正」を名目に低額回答を行った。労働側は「この回答では本勤労働者の最低年収をいくりにするのか、日々雇用労働者の最低賃金をいくりにするのかがあいまいで、真剣にその目標を達成しようという姿勢が見えない。これでは格差を広げることになりかねない。また、生コンの適正価格が收受できた場合には輸送会社にもその成果を還元し

春闘勝利を確信にして
組織拡大に邁進しよう



なければ、輸送会社は労働者の要求に応えることができない」として再検討を要求。
経営側打ち合せや代表折衝を数回重ねた後、再度経営者会が回答。「5割を本勤にする」など画期的回答を勝ち取り、妥結に至った。
【妥結内容】賃上げ…本勤月額1万円、日々雇用日額500円。年間一時金…138万円を上限に満たない者は5万円引き上げ。福利…12万円(昨年実績)。輸送運賃…46000円を上限に3000円引き上げ。人員補充…正規・非正規の比率を5対5にする。この目標達成に向けて環境整備委員会で議論し、10月末までに結論を出す。

関西生コン関連労働組合連合会 (生コン産労・全港湾大阪支部・近圧労組・ 大阪市西区川口2-4-28
建交労関西支部・U Aゼンセン・関生支部 TEL.06(6583)5546

16春闘共同ニュース

2016年
4月4日号



このような不正常な労働状況もある。

この間、生コン業界は正規労働者が30%で非正規労働者が70%という不正常な状態が固定化している。このことは労働組合の影響力を回避する不当労働行為としても厳しく追求してきた。

また、不正常な日々雇用の常態化が労働局やハローワークからも指摘され、日々雇用の印紙購入がストップさせられている



16 春闘は、ストライキを背景に集団交渉・代表交渉などを積み重ねた結果、今春闘の中心課題であった日々雇用の正社員化は、当面50%の比率に戻すことが約束された。

低運賃が異常の原因 運賃引き上げの回答

不正常な生コン業界 正規化を勝ち取る！



労働環境から、日々雇用の正社員化を50%の比率に戻すという大きな成果を今春闘で獲得した。

運賃アップで日々雇用に正規化へ！

経営者会が試算した原価表

(この原価表は日々雇用本勤化・運賃6万円等を含む)

	18-18-20-N		18800
セメント	9100	0.288	2620.8
細骨材1	2680	0.402	1077.36
細骨材2	2680	0.402	1077.36
砕石	2680	0.935	2505.8
混和剤	130	2	260
小計			7541.32
製造人件費			1363.636
運転手			2659.091
車両代			1613.262
応援庸車			1309
管理費			2500
協同組合費	500+150+20+50		720
販売店口銭			1000
環境整備費			100
			18806.31

そ 組設立時にも出されたが、今回初めて大阪兵庫生コン経営者会から原価構成表を発表した。その原価構成は、現在の年間出荷量

から割り出した売り価格が18000円台を示している。

適正価格収受にむけて 原価構成表を発表した

これからは、16春闘の成果を全組合員が確信にして、低賃金で長時間労働を強いられている未組織労働者や傭車会社に、賃上げや傭車運賃引き上げを還元させるためにも未組織の組織化が求められている。

日 賃上げ100000円は 昨年到现在大幅賃上げ

から割り出した売り価格が18000円台を示している。

賃上げ100000円は 昨年到现在大幅賃上げ

から割り出した売り価格が18000円台を示している。